

みふねのアスリート

二人に共通すること、それは勝ち負けを全く意識していないことだ。スポーツ吹矢は本来、健康にいい運動として注目されている。競技人口も近年は増加して、全国で2万5千人を数える。

「健康志向とあがり症を克服するために始めた吹矢。精神的に強くなりました」と楠山さん。

「成績はこだわらずに集中力を高めて無になった結果です」と梶原さん。

9月11日に鹿児島県で開かれた第3回スポーツ吹矢九州・沖縄大会で、梶原さんが10位クラスで、楠山さんが8位クラスの部で優勝をつかみとった。

心と技を練り磨き精神を極限まで無に近づける競技「スポーツ吹矢」で、九州一を射止めた二人が御船にはいる。スポーツ吹矢熊本御船支部の梶原陽子さんと、楠山京子さんだ。

11月20日に開かれる町民スポーツ大会で、スポーツ吹矢が御船中学校体育館で体験できる。九州一の精神力とチームワークを会場で実感できるチャンスだ。

言葉どおり、練習場所のスポーツセンター武道場にはなごやかな雰囲気。しかし、的を前にすると集中力のスイッチが自然とオンになる。

「御船支部はすごくまとまりのあるチームワークがいろいろ」と楠山さん。

「スポーツ吹矢は腹式呼吸で行うため、健康にいい競技です」と話すのは、御船支部の梶原光生支部長。実際に、血液の循環が改善され、高血圧、脳血栓、心筋梗塞などの予防にもなるという。さらに腹式呼吸を必要とするため、腹囲解消、ダイエット効果といった女性にうれしい特典もある。御船支部の会員には、6kgの減量につながった女性もいるからすごい。

Blowgun

スポーツ吹矢九州・沖縄大会優勝

九州一を射止めた極限の精神力



楠山 京子さん
(高木)

梶原 陽子さん
(高木)

スポーツ吹矢熊本御船支部

●スポーツ吹矢熊本御船支部
平成19年7月創部。県御船支部とフネッピーすこやかスポーツクラブの双方から成る。県御船支部は毎月第2・4木曜日の19時30分～21時30分まで上高野公民館を練習拠点に置く。フネッピーは毎週木曜日の10時～12時までスポーツセンター武道場で練習中。御船町を中心に29人が所属。平均年齢65歳。見学や体験も可能。詳しくは電話で直接お尋ねください(梶原光生支部長 ☎282-3501)。

全日本女子軟式野球 小・中学生九州大会優勝

中嶋 南美さん
(高木)



●なかしま・みなみ

小学2年生で城山クラブに入部。チーム初の女性部員となる。6年生から副キャプテンを務め、レギュラーに定着。俊足強肩が持ち味。第1回全日本女子軟式小・中学生九州大会で熊本県選抜チームに選出。1番でショートやセンターを務めて全試合フル出場。チームのリードオフマンとして優勝に貢献。身長153cm。体重40kg。右投両打。5人家族。3人きょうだいの長女。趣味は野球。12歳。

Baseball

熊本を九州一に導いた俊足強肩

百人を超える女子児童の中から熊本県選抜に選出されて、九州一に輝いた野球少女がいる。御船城山少年野球クラブ(徳永直幸監督)所属の中嶋南美さん。

8月26日に熊本市水前寺球場で開幕した、第1回全日本女子軟式野球小・中学生九州大会の小学生の部で、熊本県選抜Aの一員として優勝に貢献した。

全3試合にフル出場して1番でショートやセンターを務めた。打撃では11打数6安打の高打率をマーク。内4本は3塁打と俊足好打で仕事を果たした。

「1番として塁に出ることを心がけました」と自らの役目を的確に答える。

中嶋さんが野球を始めたのは小学2年生の時。一つ下の弟・大晴くんが城山クラブで汗を流す姿を見て入部を決めた。チーム初の女子部員となり、男子に負けじと白球を追いかけた。

「練習がきついと思ったことはありません。チームの雰囲気もよくて楽しいです」と白い歯を見せる。

「南美の頑張る姿は励みに

なります。プレーは男子顔負けですよ」と高く評価するのは徳永直幸監督。

小学5年生から試合出場の機会を与えられ、今年からレギュラーを自らの力でつかみとった。副キャプテンにも抜擢され、チームのまとめ役にも徹している。6年生からは自宅で素振りや欠かさずに続ける努力家の一面もある。

「性格は親譲りの負けず嫌いなんですよ」と笑いながら話す母の百合さん。

その性格にこそ、アスリートとして彼女の才能を開花させた。中嶋さんは町内小学校の陸上記録会で百14秒台、ソフトボール遠投約50mと、2種目を制した万能型の児童でもある。

「中学生になったら軟式野球部に入ります。中学からは変化球があるから対応できるように今から準備していきます。そして中学生の部で県選抜入りできるように頑張りたいです」と先を見据える。

野球が好きでたまらない中嶋さん。彼女が見せる笑顔に迷いなど一切ない。